

学位被授与者氏名	梅本 典子 (うめもと のりこ)
論文題目	『嵐が丘』の中の「取換っ児」の問題について
論文審査結果の要旨	<p>『嵐が丘』ではハイツとグレンジとか、自然と文明とかの対照関係が従来指摘されている。梅本はここに本物と取替えっ子の対照関係を新たに打ち出している。この新しい対照関係は作中人物たちを支配するヤヌスの、二股的状況を他の対象関係よりもうまく説明できる強味がある。ただし、「小キャシーの中に内在するキャサリン」(p. 28)、小キャシーの中の「グレンジ的な要素とハイツ的な要素」(p. 30)などの表現に見られるように、まだ従来の分析に頼る不徹底なところを残している。それでも、梅本はだいたいのところできちんと本物と取換っ児の対照関係を維持しており、修士論文のレベルに達していると判断できる。</p> <p>平成 26 年 2 月 24 日に、北九州市立大学北方キャンパス 3 号館 3 2 0 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(英米言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>